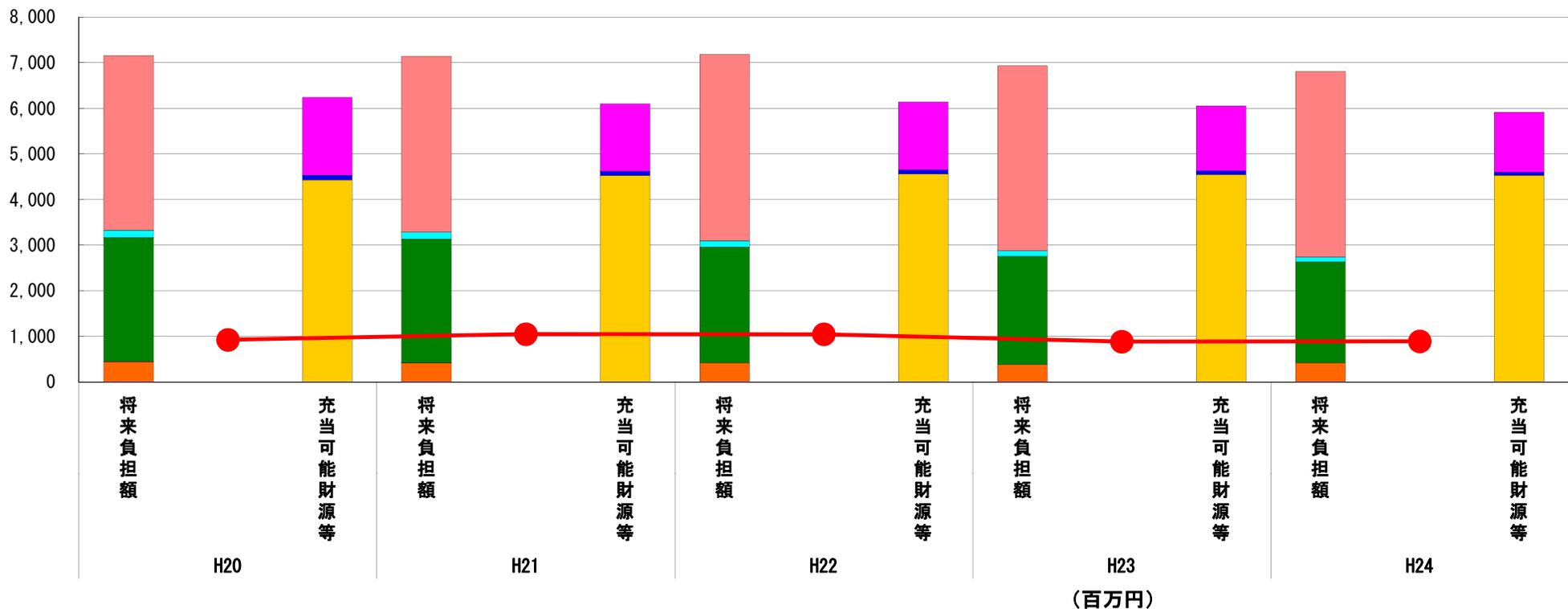


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

岡山県早島町

(百万円)



分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		3,826	3,861	4,084	4,054	4,064
	債務負担行為に基づく支出予定額		164	152	140	126	112
	公営企業債等繰入見込額		2,721	2,712	2,537	2,372	2,213
	組合等負担等見込額		3	1	-	-	-
	退職手当負担見込額		443	417	419	378	417
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,703	1,473	1,485	1,419	1,316
	充当可能特定歳入		107	99	91	82	72
	基準財政需要額算入見込額		4,427	4,526	4,561	4,548	4,529
(A) - (B)	将来負担比率の分子		920	1,045	1,043	881	887

分析欄

将来負担額は減少し充当可能財源がほぼ一定であることから相対的に将来負担比率が減少している。

一方で、充当可能財源である基金残高は減少傾向にあり、今後の新規地方債発行によっては将来負担比率が上昇することも考えられる。

こうしたことから、地方債の新規発行にあたっては地方交付税に算入される有利なものとしながら実質公債費比率の改善に努める。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。